

2009年度アートマイルプロジェクト評価シート

■ 基本情報について教えてください。

学校名	[赤穂市立赤穂西中学校]			担当教諭	[濱 本 哲 也]		
児童生徒の学年・クラス・参加人数：	[1年 組 7名]	[2年 組 9名]	[年 組 名]				
実施期間： 2009年 9月 ~ 2010年 2月							
交流：無・有 国名[インドネシア] 学校名[SMP27 Surabaya] 学年[] 担当教諭[]							
実施教科・時数 アートマイルに関連した時間すべて（総合 は外国語活動、環境など中身がわかるよう）。 必要に応じて行を追加してください。	教 科	単元名			時数		
	外国語学習	英語でメールを送る			3		
	美 術	共同制作「壁画づくり」			1 8		

■ 作品について教えてください。

題（テーマ）	「 残したい伝統文化・取り戻したいクリーンな環境 」		
作品に込めたメッセージ	<p>工業国として発展しつつあるインドネシアでは、ゴミ公害が深刻な社会問題となっていることを交流で知った。CO₂削減など、日本が世界に先駆けて環境問題に取り組んでいることは、世界の人々から期待されていることも実感できた。</p> <p>作品は、環境問題の実態に迫りながら、めざす理想的な未来像を描いた。また、互いの伝統文化を知り、大切に守っていこうとする心をメッセージとして図案に込めた。</p>		

■ 主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介の文を英訳する。日本や赤穂市の特色について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の気候や衣装・景勝地等の意見を出し合った。 英訳文を互いに見せ合い、修正した。 	外国語学習
情報収集	10月	<ul style="list-style-type: none"> 四つ切り用紙にイラストと自己紹介の英訳文をかく。 正しい英訳を学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな漫画のキャラクターや興味のある風物を生き生きと描けた。 英訳文を英語教師に見てもらった。 	外国語学習
テーマ検討	11月 ～ 12月	<ul style="list-style-type: none"> インドネシアの歴史・風土・伝統文化について、インターネットで調べる。 環境(ゴミ)問題について考える。 SMP27スラバヤ中学校とのテレビ会議に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> グループに分かれて、民族衣装・民家・民族楽器・伝統工芸品・人気グッズなどを調べた。 図案のラフスケッチを何度も描き直す。 テレビ会議で交流の実感を掴んだ。 	美 術
制作	1月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 下絵を検討する。シートに下絵を転写する。作業分担を決める。彩色する。 	美 術
鑑賞	2月	<ul style="list-style-type: none"> 壁画制作をする。 手紙・イラストも添えて壁画をSMP27スラバヤ中学校に送る。 	<ul style="list-style-type: none"> 壁画の半面を完成させる。 	美 術

■ 学習目標と成果はどうでしょうか? (「重視」には指導にあたって重視したものを1位~5位まで記入を、「先生の手応え」はすべてについて以下の1~5で評価してください。

(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:まったく関連がなかった)

つけたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
コミュニケーション・スキル		5・④・3・2・1	一部の生徒だが、テレビ会議に参加したことで、半直接的にコミュニケーション体験ができた。
情報活用能力(収集・発進)	5	5・④・3・2・1	インターネットの活用で、交流相手国の文化情報を収集した。
人間関係をつくる(交流相手・学級内)	4	5・④・3・2・1	生徒同士で英訳文を助け合う場面も見られた。
協同作業をする力(役割・段取り)	2	⑤・4・3・2・1	壁画の下絵をシートに転写する場面で、碁盤状の区画毎に分担して拡大した。
異文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	分野ごとに分担しながらであるが、インターネットや図書館を利用して、相手校の文化を知ることができた。
自己文化の理解・自分を見つめる		5・④・3・2・1	他国と比較することで、自国の現状や問題点が浮かび上がってくる。それを絵にすることで、より鮮明なイメージに近づいた。
表現力	3	5・④・3・2・1	大壁画にドローイングした経験そのものが、表現力の伸長である。
学習を追求する意欲		5・4・③・2・1	
作品を鑑賞する力		5・4・③・2・1	

■ 今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか?

成果	課題
創作活動を通して、言葉や風習の異なる人たちとも心が共有できることを体験できたことが、最大の成果であった。	参加した一部の生徒の閉鎖性や表現力の問題もあって、所期の目的にそぐわぬ点も少なからずあった。初回の反省点は、次の機会に生かせるものと期待する。

■ アートマイルに対する校内・保護者や地域の方の反響はどうでしたか?

担当教諭や子どもたちによる公報の機会	校内・保護者や地域の方からの反響
海外の生徒に英語やイラストでメールを送ったり、テレビ会議に参加して交流の幅が大きく広がった。	市の民報に二度掲載されたことで、校区の保護者及び地域の方から反響の声を多数聞いた。創作活動に携わる市内の諸団体にも少なからぬ影響を与えている。

■ その他ご感想・アートマイルプロジェクトへの要望などありましたらどうぞ。

塩飽さんご夫妻をはじめ、アートマイル関係の方々に感謝致しております。本当に有り難うございました。漸く軌道に乗りかけた時点で、私が転勤となり中座してしまうことが、本当に残念ではあります。

今回の取り組みに参加させて頂いた生徒並びに職員全員が、貴重な体験を得ました。この糧を将来の諸活動に生かし、一人ひとりの人生がより幅の広いものになることを確信します。